
僕

斉藤 金治郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕

【コード】

N5410BA

【作者名】

斉藤 金治郎

【あらすじ】

恋愛物は始めて書いたので短編です。

(前書き)

あまり気にせず読んでください。

僕と香奈に隔たりができたのはいつだったろうか？それは定かでないけど、たぶん3年前。

ただこの気持ちを伝えたくて何年経ったかははっきりと覚えていない。・・・6年だ。

香奈が隣の家に移り越してきたのも6年前だ。当時の内気な僕と香奈は少しずつだがその仲を深めていった。出会った時の衝撃は覚えていて。

彼女のさらさらとした黒髪と恥ずかしさで赤く染まった頬、そして小さく頼りない声で

「は、初めまして。わ、たしの名前は香奈。よ、よろしく」

・・・一目惚れだった。それから僕らは毎日のようにお互いの家に行き遊んでいた。でもそれは昔のこと。

3年後、僕らは別々の中学に行くことになった。香奈は市内の私立中に僕はそのまま地元の公立中に行くこととなった。最初ばかりは挨拶を交わすくらいだったが、僕は部活に入り香奈も塾に入ったそうで僕たちは次第に会わなくなった。でも、僕は今も思っている。香奈は知らない。もう僕のことなんて頭に無いのかもしれない。だけど僕は香奈のことではいっばいだ。

香奈、僕は君のことが好きです。

(後書き)

..しんごしんご

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5410ba/>

僕

2012年1月14日22時53分発行